

2月17日から日本でも新型コロナウイルスのワクチン接種が始まりました。ワクチンの接種は、希望される方は無料で接種できます。正しく理解し、ワクチン接種を行ないましょう。

## 厚生労働省のホームページより一部抜粋してご紹介します

### ■誰が受けられるの？

(2021/2/17 現在)

16才以上の希望する方は、誰でも受けることができます。

新型コロナウイルスのワクチン接種は、強制ではありません。受ける方の同意なく、接種が行なわれることはありません。

### ■ワクチンの接種費用は？

接種費用は無料で、自己負担はありません。



### ■接種回数は？

2回の接種が必要です。1回目の接種から3週間後(ファイザーのワクチンの場合。アストラゼネカは4週間後)に2回目の接種を受けます。1回目から3週間(または4週間)を超えた場合には、できるだけ早く2回目の接種を受けてください。

### ■接種を受けるには？

市町村から「接種券」と「新型コロナワクチン接種のお知らせ」が届きます。お手元に届いた方から予約をし、ワクチン接種を受けることができます。

### ■ワクチンを受けられない人や受ける場合に注意することが必要な人は？

以下の方は受けることができません。当てはまると思う方は、かかりつけ医にご相談ください。

- ① 37.5℃以上の熱がある人。
- ② 重い急性疾患にかかっている人。

また、以下の方はワクチン接種時には注意が必要です。当てはまると思う方は、かかりつけ医にご相談ください。

- ① 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- ② 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
- ③ 過去にけいれんを起こしたことがある人
- ④ アトピー性皮膚炎や気管支ぜんそくなどアレルギーの病気のある人や、アナフィラキシーといわれる重い病気になったことがある人

### ■妊娠中や授乳中の人は受けることができる？

これまでの試験では対象となる人が少ないので安全性は確かではありません。妊娠中、授乳中の方は主治医とご相談ください。ただしワクチン接種後に妊娠が判明しても胎児に与える影響は極めて少ないと考えられています。

### ■新型コロナウイルスに感染したことのある人も受けることができる？

感染した方も受けることができます。ただし、受けた治療の内容によっては、治療後から接種まで一定の期間をおく必要がある場合があるので、いつから接種できるか主治医にご確認ください。

### ■ワクチン接種した後もマスクは必要？

コロナの発症予防に期待されていますが、引き続き、感染予防対策は継続してください。



新型コロナワクチンの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚労 コロナ ワクチン 検索



ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

**詐欺にご注意ください!**

市町村等がワクチン接種のために金銭や個人情報を、電話やメールで求めることはありません。ワクチン接種は無料で、市町村からお知らせがとどきます。「無料で優先的に接種」はありません。ご注意ください。